

講演題目

お野菜さんありがとう！菌ちゃん元気になあれ！ ～思いやりの心を育む生ごみリサイクル菌ちゃん野菜づくりの魅力～

目に見えない菌ちゃん（微生物）が土の中で元気いっぱいに生きていることを実感できる「生ごみリサイクル菌ちゃん野菜づくり（生ごみを土に還してその土で野菜をつくる活動を通じた食育プログラム）」。子供達はこの活動を通じて野菜や発酵食品を大好きになるだけでなく、感謝や思いやりの心を育み、循環と共生によって支えられる自然界の仕組みを体感することができます。これは、土やお腹の中などで他の生き物と密着して生きる菌ちゃんを知ることで、生き物が他の生き物に命をつなぐ命のルレーを体感でき、さらに、そのルレーが古い食べ物（生ごみ）から新しい食べ物ができるまで一巡りするのを体験できる、このプログラムならではの効果であると思われます。また何より、生ごみで土をつくと、ポイントさえおさえれば、素人でも無農薬で虫のほとんどつかない美味しい野菜を作れてしまうことも、このプログラムの大きな魅力の一つです。

義務感からではなく、お腹を空かせた菌ちゃんに元気になってほしいから生ごみを土に還し、お野菜さんに強くなってほしいから適切に手をかける。生き物への思いやりの気持ちでみんなが元気になり、ゴミがなくなって環境も良くなる。そんな魅力一杯の食育プログラムを、実演を交えてご紹介します。短期間で心と体が元気になる具体的な食改善の方法もご紹介します。

【日時】 2018年 8月9日 木 9:30～12:00（開場9:00）

【会場】 山梨大学赤レンガ館（甲府市北新1丁目）

【定員】 100名 参加無料

申込締切 8/1(水)

吉田俊道氏プロフィール

NPO法人大地といのちの会理事長・菌ちゃんふぁーむ園主・農学修士。1959年、長崎市生まれ。九州大学農学部大学院修士課程修了後、長崎県の農業改良普及員に。96年、県庁を辞め、有機農家として新規参入。99年、佐世保市を拠点に「大地といのちの会」を結成し、全国に生ごみリサイクル菌ちゃん野菜作りと元気人間作りを普及している。2007年、同会が総務大臣表彰（地域振興部門）を受賞。2009年、食育推進ボランティア表彰（内閣府特命担当大臣表彰）。長崎県環境アドバイザー。

主な著書は「生ごみ先生の元気野菜作り超入門」「菌ちゃん野菜作り&元気人間作り」「お野菜さんありがとう～子どもと一緒に元気野菜作り」現在西日本新聞で「菌ちゃんありがとう」を毎週水曜日連載中。

参加申込み

氏名	
住所	
TEL	
E-Mail	

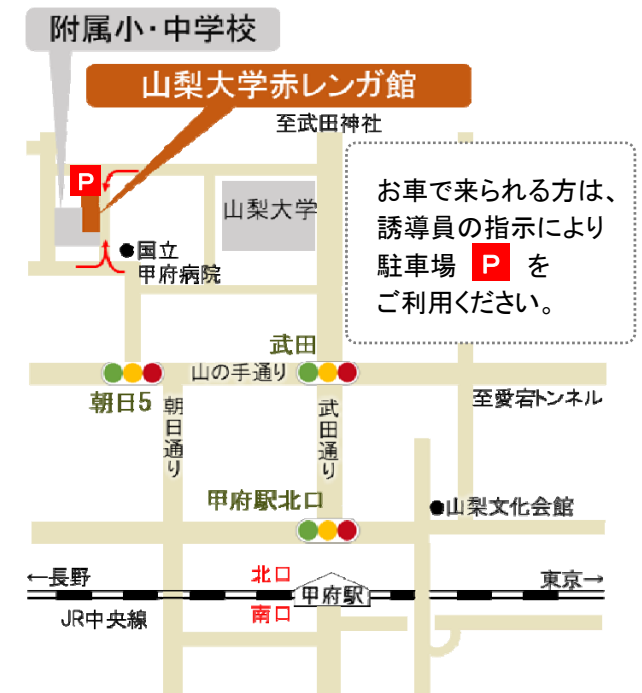
参加をご希望の方は、上記に必要事項をご記入のうえ、8月1日(水)までにFAXまたはメールにてお申し込み下さい。締切日を過ぎても申込みを受け付けますが、定員に達し次第、締め切ります。

なお、お申込者の個人情報、公開講座の連絡等、運営に関してのみを利用目的とし、主催者にて適切に管理いたします。

FAX : 055-220-8702 メール : coc-event@yamanashi.ac.jp

※メールの場合は、タイトルを「8月9日 公開講座申込み」としてください。

会場案内図



過去の講演参加者の感想

- 衝撃的であった。食がそこまで人間を変えて、成長させるかと思うと、今までのように安易に考えることが出来なくなった。考えて食を選び、感謝して、生きていることの喜びを感じて生活したいと思った。すばらしい話をどうもありがとうございました。
- すごく楽しくてあっという間の2時間でした。子どもの行動、遊びは本能なのですね。元気が出てきました。私は2階の一番後ろに座っていましたが、寝ている人はいませんでした。前のめりになり聞いている方々ばかりでした。
- 子どもに共生体験をさせたい。実感させてやりたい。まず家庭からがんばってみます。まず明日は雑草だらけの庭の草を土に入れ、生ごみを土に…からですね。今の私の仕事は学校給食を作っています。自分で体験し、発信できる立場です。私次第で変わるのだと意志を強くもって、土と共に生きたいです。
- 「命あるものには意味がある」この言葉がとても私を勇気づけてくれました。命ある私だって何か意味がある。私は今日聞いたことを必ず話します。私にだって「人に伝える」という出来ることがある！と思えました。話がおもしろくてずっと聞き入っていました！！本当にありがとうございました。
- ユーモアたっぷりの話の中に、生きる本質が盛り込まれていました。深みのある内容でした。消費者へ訴える力がすばしかったです。多分今日の講演を聞いて行動が変わる人が大勢いることでしょう。PTA単位で一般の保護者の方へも聞かせていただけたらと思いました。
- 改めて、食の意味を知った気がします。反省することが随分ありました（^ 0 ^ ;）早速、家に帰って、息子に話しました。いただいた人参（皮付きで）を使って、鍋一杯に煮物をしたのですが、ここに届いたのか、パクパク、モリモリと息子と主人が食べてしまいました。食べている姿を見ながら心の中で、これまでの反省を込めて「ごめんなさい」と繰り返しました。
- 引き込まれるような語り口でした。皆さんも一生懸命聞いておられたみたいで、嬉しかったです。講演の最後に話された精子の受精の話。あれ、感動しました。私は前から「あなたは1億のうちの選ばれた1個」といういい方に違和感をもっていたので、なんだかほっとしました。他を蹴散らして我先にと受精したのが自分や子ども達の始まりでなくて、心から安心しました。聞いていて涙が出てきて困りました。
- ありがとうございました。講演会の帰り道買い物も忘れ、家に着いたとたん子供相手に今感動した事、自分の考えが間違っていた事、知らず知らずの内にどんなに家族に迷惑を掛けていたか、これからはどうしてこう思ったか、一気に話していましたね。まあ、話すのは簡単。何事も実践が大事、一度生ごみサイクルに挑戦し、失敗した経験がある私としては大きなことは言えませんが、会場で購入した本を手引書にやってみようと思います。これからはあちらこちらの講演会に出かけることにしようと思っていますのでまたお会いできるかと楽しみにしています。本当にありがとうございました。
- 食育とは、今までは漠然と「栄養学のひとつかな」としか認識していませんでしたが、今日の講演に参加して、「食をとおして、いのちの素晴らしさといのちへの感謝を実感するところを育むとろくみ」だと解釈しました。とても感動しました。地球環境の変化、すさんでいく社会、イビツな経済、嘆いてばかりで夢を持ってないこれまででしたが、よしひとつ自分から変わろう、と強く思えました。生きていて、実はずっと感じていた違和感は、今までずっと、いのちの原理から外れたことばかりしてきたからかもしれない、と思いました。早速、17項目からいくつか実践します。そして、わたしも元気な野菜を育てたいです。更には、やっぱり農業だよなあ、と思っています。